

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	教育委員会	課	学校教育課	事業番号	5111																																																																								
<b>事業概要 (PLAN)</b>		<b>評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか</b>																																																																											
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保	実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓																																																																										
方針	1 女性の健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する意識の浸透		を入れてください																																																																										
施策の方向	1 学校等における性の教育の推進																																																																												
事業番号/事業名	5111 性の教育の推進	<b>評価2 (CHECK) 数値目標</b>																																																																											
事業内容	学習指導要領に基づき、外部人材の活用も含めて発達段階に応じた生命と人権を大切に性的教育の推進を図る。	目標項目 保健所等と連携した性の教育を実施した校数の割合																																																																											
令和元年度に向けた方向性 (PLAN)	(課題)生徒が性について正しく考えることができるよう継続的に取組む必要がある。  (今後の方向性)今後とも生徒の性に関する科学的認識を深めさせると共に、生命を尊重し、自らの行動を正しく判断・選択できる態度を育成することを目的とした学習指導要領に内容に基づいた、教科の授業や講演等の取組を継続する。	目標・実績	目標値	増加	達成年度	33年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度	40年度	41年度	42年度	43年度	44年度	45年度	46年度	47年度	48年度	49年度	50年度	51年度	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	64年度	65年度	66年度	67年度	68年度	69年度	70年度	71年度	72年度	73年度	74年度	75年度	76年度	77年度	78年度	79年度	80年度	81年度	82年度	83年度	84年度	85年度	86年度	87年度	88年度	89年度	90年度	91年度	92年度	93年度	94年度	95年度	96年度	97年度	98年度	99年度	100年度
参考	関連する計画	実績の評価																																																																											
<b>実施内容 (DO)</b>		<b>評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容</b>																																																																											
※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。  「保健」や「理科」の授業を通じて「男女の性差」「二次性徴」「生命の尊さ」等を学習する。小・中学校では、「こころの教育推進事業」を活用して産婦人科医師や助産師などを招き、性教育の講演を行った学校もあった。  外部講師による教育を実施した学校:(小学校5校/41校、中学校13校/18校) 専門的な観点より命の大切さを学び自他の生命を大切にすることを学習する。思春期を迎えた生徒に対して、医療現場の立場から医学的専門知識を生徒にわかりやすく説明し、生徒が自他共に思いやりの気持ちをもって接することの大切さを学ばせるために性教育講演会を実施し、性交による妊娠、避妊、中絶、性感染症について説明を受けるなどの互いを尊重する関係づくりに向けた取り組みを行った学校もある。  令和元年度 小学校、中学校の養護教諭等が所属する「性教育研究会」があり、研究会を中心に、各地区、学校別に性教育で実践している。とりわけ中学校では、産婦人科医が助産師などから、生命の誕生、避妊法や性感染症などをテーマにした講演会を開催している。 【取組み例】 小学校では、徳永桂子氏を講師に招き、4年生の児童を対象に保健の授業を実施した。また、授業終了後には、教員向けの講演会も開いた。中学校では、男女間の交際において互いに優しく支え合い、良好な関係を築く態度を育成することを目的に、尼崎市女性センター・テレビエ職員 岩田さやか氏を講師に招き、3年生を対象にデートDV防止セミナーを行った。また、助産師の古賀浩子氏を講師に招き、妊婦体験ベストなどを着用しながらのちのちの誕生なども含めて、生命の尊さへの理解を深め、自己肯定感を高められるような講演をしていただいた。継続して、講師を招聘することで、児童生徒への啓発を続けて行うことができる。		(指摘事項) ・性の教育の推進 発達段階に応じた生命と人権を大切に性的教育の推進に向けて、例えば、自然学校の前に女子児童対象に実施する初経教育について男女ともに実施するなど、正しい知識と理解を深める取組について検討されたい。【学校教育課】																																																																											
		<b>男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について</b>																																																																											
		発達段階に応じた性の教育の推進に向けて性教育研究会での取組や学校現場での指導方法、計画を十分に吟味し、引き続き丁寧に検討していく。																																																																											
<b>課題</b>		<b>(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。</b>																																																																											
前年		養護教諭が中心となって性の教育を行ったり、講演会を行うなど、学校ごとの様々な取組により性の教育を行った。今後とも、性教育研究会等においても生徒が性について正しく考えることができるよう継続的に研究しながら取組む必要がある。																																																																											
		<b>今後の方向性 (ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。</b>																																																																											
30年度	専門的な観点より命の大切さを学び自他の生命を大切にすることを学習する。思春期を迎えた生徒に対して、医療現場の立場から医学的専門知識を生徒にわかりやすく説明し、生徒が自他共に思いやりの気持ちをもって接することの大切さを学ばせるために性教育講演会を実施し、性交による妊娠、避妊、中絶、性感染症について説明を受ける機会をもうけるなどの取り組みを行った学校もある。	今日の課題を含めて、様々な工夫をしながら、性的マイノリティも含め性に関わりなく互いを尊重する心・態度を育成することを意識した性の教育を実施していく。																																																																											

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

<b>事業概要 (PLAN)</b>	
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保
方針	1 女性の健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する意識の浸透 <span style="float:right">重点方針</span>
施策の方向	1 学校等における性の教育の推進
事業番号/事業名	5112 思春期の性に関する心身の悩みの相談
事業内容	保健室等で個別指導や教育相談を行うなど、性の不安や悩みに対する相談や性への健全な態度を培うように努める。
令和元年度に向けた方向性 (PLAN)	(課題)性の不安や悩みなど、親や友達に相談しにくいこともでも、保健室等なら「いつでも相談できる」と子ども達に身近に感じてもらうことが課題である。 (今後の方向性)一部の学校ではあるが、例えば身体測定で保健室に集合した際に、「保健室はケガや病気の時だけではなく、心配なことや悩みごとなど気になることをいつでも相談していい」ということを養護教諭から20分ほどかけて説明するなど、養護教諭や保健室を身近に感じるよう呼びかける機会を設けたり保健だよりで養護教員から生徒向けに「保健室の先生に話をしてください」などと呼びかけを行っている。 相談窓口については朝会や全校集会、保護者への通知などで定期的に周知していくだけではなく今後も生徒と養護教諭などの信頼関係を築くための機会を意識して作っていき、相談しやすい保健室と感じられるような呼びかけを行っていく。
参考	関連する計画
c	(DO) ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。
令和元年度	小学校でも、中学校でも、養護教諭やスクールカウンセラー等が児童生徒から性に関する悩みの相談を受けた時には、丁寧に個別に対応している。 ○年間の相談件数 小学校165件(二次性徴・身体の変化119件、デートDV0件、男女交際14件、その他32件)。 中学校162件(二次性徴・身体の変化 53件、デートDV2件、男女交際73件、その他34件)。 高校37件(二次性徴・身体の変化0件、デートDV2件、男女交際24件、その他11件)。  一部の学校ではあるが、例えば身体測定で保健室に集合した際に、「保健室はケガや病気の時だけではなく、心配なことや悩みごとなど気になることをいつでも相談していい」ということを養護教諭から20分ほどかけて説明するなど、養護教諭や保健室を身近に感じるよう呼びかける機会を設けたり保健だよりで養護教員から生徒向けに「保健室の先生に話をしてください」などと呼びかけを行っている。
前年30年度	小学校でも、中学校でも、養護教諭やスクールカウンセラー等が児童生徒から性に関する悩みの相談を受けた時には、丁寧に個別に対応している。 ○年間の相談件数 小学校230件(性の不安や悩みに対する相談件数109件、二次性徴・身体の変化85件、デートDV2件、男女交際21件、その他13件)。 中学校591件(性の不安や悩みに対する相談件数272件、二次性徴・身体の変化111件、デートDV5件、男女交際110件、その他93件)。 高校50件(性の不安や悩みに対する相談件数25件、二次性徴・身体の変化0件、デートDV1件、男女交際20件、その他4件)。 【取組み例】 男女間の交際において互いに優しく支え合い、良好な関係を築く態度を育成することを目的に、尼崎市女性センター・トレビエ職員岩田さやか氏を講師に招き、3年生を対象にデートDV防止セミナーを行った。講演の途中には生徒のロールプレイングも行き、更にセミナー終了後、感想文を書かせることで、内容を深めさせた。また、助産師の古賀浩子氏を講師に招き、妊婦体験ベストなどを着用しながらいのちの誕生なども含めて、生命の尊さへの理解を深め、自己肯定感を高められるような講演をしていただいた。

局	教育委員会	課	学校教育課	事業番号	5112
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
☑を入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考	
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
	保健室を身近に感じてもらえるよう、継続的に生徒に呼びかけ、性の不安や悩みなど、親や友達に相談しにくいこともでも、保健室等なら「いつでも相談できる」と子ども達に身近に感じてもらうことが課題である。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	相談窓口については朝会や全校集会、保護者への通知などで定期的に周知していくだけではなく今後も生徒と養護教諭などの信頼関係を築くための機会を意識して作っていき、相談しやすい保健室と感じられるような呼びかけを行っていく。				

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	健康福祉局	課	健康増進課	事業番号	5113
事業概要 (PLAN)	基本目標 5 女性の生涯にわたる健康の確保 方針 1 女性の健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する意識の浸透 <b>重点方針</b> 施策の方向 1 学校等における性の教育の推進 事業番号/事業名 5113 学校と連携した性の教育の実施 事業内容 保健所・保健センター・各地域保健担当での随時相談を受けるほか、学校と連携して生徒や保護者を対象に性の教育を実施する。また、思春期の中学生等を対象に、「赤ちゃんふれあい体験学習」を行い、命の尊さを学ぶ機会をつくる。 令和2年度に向けた方向性 (PLAN) (課題) 【健康増進課】性の教育については、学校からの依頼に応じた講座の実施となっており、全市的な取り組みとなっていない。(今後の方向性) 【健康増進課】性の教育については、一体的にプログラム化し、全学校の健康教育の実施に向け、学校や産婦人科医会、助産師会と課題を共有し、今後のあり方を検討する。				
参考	関連する計画	地域いきいき健康プランあまがさき(地域保健医療計画)			
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
令和元年度	【健康増進課】事前の打ち合わせや事後カンファレンスを通して、学年担当教諭や性教育担当教諭、養護教諭などと性の知識や情報を共有し、児童・生徒へ性に関する健康教育を実施することで、性感染症の予防や予期しない妊娠の防止につなげる。 ・学校と連携した性教育 13回 719人(小学校3校、中学校2校)(南北保健福祉センター地域保健課と共同で実施分も含む)				
前年30年度	【健康増進課】事前の打ち合わせや事後カンファレンスを通して、学年担当教諭や性教育担当教諭、養護教諭などと性の知識や情報を共有し、児童・生徒へ性に関する健康教育を実施することで、性感染症の予防や予期しない妊娠の防止につなげる。 ・学校と連携した性教育 13回 733人(幼稚園1園、小学校2校、中学校2校)(南北保健福祉センター地域保健課と共同で実施分も含む) 性教育研究会の総会に行き、保健師等が性の教育の講座を実施していることを周知した。				
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
を入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
	【健康増進課】性の教育については、学校からの依頼に応じた講座の実施となっており、全市的な取り組みとなっていない				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	【健康増進課】性の教育については、一体的にプログラム化し、全学校の健康教育の実施に向け、学校や産婦人科医会、助産師会と課題を共有し、今後のあり方を検討する。				

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

		局	健康福祉局	課	健康増進課	事業番号	5121
<b>事業概要 (PLAN)</b>		<b>評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか</b>					
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保						
方針	1 女性の健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する意識の浸透						重点方針
施策の方向	2 母性保護についての意識啓発						
事業番号/事業名	5121 ママやパパのためのマタニティーセミナー(両親学級)の実施						
事業内容	母性の保護及び新生児の保育を主目的とした「ママやパパのためのマタニティーセミナー(両親学級)」を開催する。						
令和2年度に 向けた 方向性  (PLAN)	(課題) 平日のマタニティーセミナーでは、パートナーの参加が増加しているが、さらに多くのパートナーが参加できるような働きかけが必要である。 (今後の方向性) 南北地域保健課に母子健康包括支援センターを機能付加した。妊娠届出妊婦時の保健師全数面接を始め、妊娠届出時から切れ目ない支援を実施している。妊娠届出時にマタニティーセミナーについてよりイメージがしやすいような工夫を行う。 また、パートナーと妊婦が参加しやすいマタニティーセミナーの日程の工夫等を行う。また、先輩パパママとの交流を行うことで育児のイメージをつけられるよう働きかける。						
参考	関連する計画	地域いきいき健康プランあまがさき(地域保健医療計画)					
<b>実施内容 (DO)</b>		<b>(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容</b>					
※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。							
令和元年度	○ママやパパのためのマタニティーセミナー 妊娠期から子育てについての知識を習得し、妊婦同士や先輩ママとの交流会を取り入れることで、子育て中の孤立化を防ぎ、夫婦や地域で子育てを行う基盤づくりをしている。 ①妊娠期からの産後の健康管理・子育て体験・妊婦体験・マタニティクッキング 65回(妊婦737人、パートナー383人パートナーと参加する率52%)(その他6人) 南北保健福祉センター地域保健課にて実施						
	○休日版 パパのためのマタニティーセミナー 仕事等で平日のマタニティーセミナーに参加できないパパのための育児教室、栄養教室や歯の教室を、日曜日に実施している。 【回数】5回/年 【参加者】166人(妊婦86人 パートナー80人、先輩パパ3人、先輩ママ3人)						
前年30年度	○ママやパパのためのマタニティーセミナー 妊娠期から子育てについての知識を習得し、妊婦同士や先輩ママとの交流会を取り入れることで、子育て中の孤立化を防ぎ、夫婦や地域で子育てを行う基盤づくりをしている。 妊娠期からの産後の健康管理・子育て体験・妊婦体験・クッキング&オーラルケア 74回(妊婦951人(実人数:525人 平成30年度妊娠届出妊婦のうち13.6%参加)、夫76人その他1人(祖父母等) 1回あたり13.8人参加 保健センター南北保健福祉センター地域保健課にて実施。						
	○休日版 パパのためのマタニティーセミナー 仕事等で平日のマタニティーセミナーに参加できないパパのための育児教室を、日曜日に実施している。 【内容】①パパの妊婦体験 ②育児体験(オムツ交換・ミルクの飲み方・着替えの仕方など) ③先輩パパ・ママの出産・子育て体験談を聞いてみよう 【回数】2回/年 【参加者】142人(妊婦とパートナー53組106人、先輩パパ6人、先輩ママ6人子ども7人) ○休日版マタニティーセミナー(クッキング&ブラッシング) 両親参加の子育ての視点や家族の健康を考えるきっかけとして、これまで妊婦対象に実施してきた栄養教室や歯の教室について夫婦対象に休日に開催した。 【回数】3回/年 【参加者】50人(妊婦とパートナー25組50人)						
		<b>評価2 (CHECK) 数値目標</b>					
		目標項目					
		目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
		実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
		<b>評価3</b>					
		<b>(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について</b>					
		課題 (CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。					
		【健康増進課】平日のマタニティーセミナーでは、パートナーの参加が増加しているが、さらに多くのパートナーが参加できるような働きかけが必要である。					
		今後の方向性 (ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。					
		妊娠届出時の保健師全数面接を始め、妊娠届出時から切れ目ない支援を実施している。妊娠届出時にマタニティーセミナーについてよりイメージがしやすいような工夫等を行う。また、先輩パパママとの交流を行うことで育児のイメージをつかかれるよう働きかける。					

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局		健康福祉局	課	保健企画課、疾病対策課、感染症対策担当	事業番号	5211
<b>事業概要 (PLAN)</b>		<b>評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか</b>				
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保					
方針	2 性差をふまえた女性の健康保持増進 <span style="float:right">重点方針</span>					
施策の方向	1 女性の健康をおびやかす問題に対する予防・啓発					
事業番号/事業名	5211 喫煙・アルコール・薬物・HIV/エイズ・性感染症に関する啓発					
事業内容	地域・職域を対象とした健康講座、エイズ予防啓発キャンペーン、覚醒剤乱用防止キャンペーン等を通じ、喫煙・アルコール・薬物・HIV/エイズ・性感染症に対する予防啓発を図る。					
令和元年度に 向けた 方向性	(課題) 【保健企画課】 (薬物) 薬物の乱用については、特に大麻についての検挙人員が過去最高を更新している。そのうち半数以上が若年層であり、社会問題となっている。 【疾病対策課】 依存症に関しては、実際に手にする前の青少年に対してアルコールや薬物、ギャンブル等の依存症の正しい知識の普及や啓発活動は必要である。アルコールについては、女性は男性に比べ『リスク飲酒量』(生活習慣病のリスクを高める飲酒量)が2分の1と低く、アルコールによる健康被害を受ける可能性が高い。引き続き、啓発活動を実施する必要がある。 【感染症対策担当】 HIV及び性感染症の啓発のため、大学に出向いて、直接学生と対話しながらリーフレットを配布することができたが、青少年に関わる教員や職員とともに青少年の現状課題を共有し、より効果的な啓発手法を検討する必要がある。 (今後の方向性) 【保健企画課】 (薬物) 今後も関係機関と連携を図り、薬物乱用防止に努める。 【疾病対策課】 依存症とうつ病は自殺につながるが多いため、今後も自殺対策計画に基づき自殺に結び付く可能性の高い依存症についての講演会や啓発に取り組んでいく。 【感染症対策担当】 啓発の対象となる青少年にHIV及び性感染症に関する知識や情報が届くように、引き続き、庁内関係課と連携を図るとともに、市内大学や専門学校等と連携して普及啓発活動を行う。					
	(PLAN)					
参考	関連する計画	地域いきいき健康プランあまがさき(地域保健医療計画)				
実施内容	(DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
令和元年度	別紙参照					
前年30年度	別紙参照					
実績の評価		目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
		<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3		(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題		(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
今後の方向性		(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
		【保健企画課】(薬物)薬物の乱用については、特に大麻についての検挙人員が過去最高を更新している。そのうち半数以上が若年層であり、社会問題となっている。 【疾病対策課】依存症に関しては、実際に手にする前の青少年に対してアルコールや薬物、ギャンブル等の依存症の正しい知識の普及や啓発活動は必要である。アルコールについては、女性は男性に比べ『リスク飲酒量』(生活習慣病のリスクを高める飲酒量)が2分の1と低く、アルコールによる健康被害を受ける可能性が高い。引き続き、啓発活動を実施する必要がある。 【感染症対策担当】 HIV及び性感染症の啓発のため、大学に出向いて、直接学生と対話しながらリーフレットを配布することができたが、青少年に関わる教員や職員とともに青少年の現状課題を共有し、より効果的な啓発手法を検討する必要がある。				
		【保健企画課】(薬物)今後も関係機関と連携を図り、薬物乱用防止に努める。 【疾病対策課】依存症とうつ病は自殺につながるが多いため、今後も自殺対策計画に基づき自殺に結び付く可能性の高い依存症についての講演会や啓発に取り組んでいく。 【感染症対策担当】 啓発の対象となる青少年にHIV及び性感染症に関する知識や情報が届くように、引き続き、庁内関係課と連携を図るとともに、市内大学や専門学校等と連携して普及啓発活動を行う。				

実施内容	
令和元年度	平成30年度
<p>【健康増進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・COPD健康相談における禁煙支援(62人 内喫煙者40人)</li> <li>・COPD健康相談で把握した禁煙希望者に対して、電話で禁煙チャレンジ状況を確認し、状況に応じて禁煙支援を実施</li> <li>・肺がん検診の結果通知書でたばこの健康影響に関する情報提供</li> <li>・母子健康手帳交付時の啓発ビラの配布(4,024人)、必要に応じて保健指導を実施</li> <li>・乳幼児健診での啓発ビラの配布</li> <li>・世界禁煙デーのポスター配布・掲示依頼(子育て関連施設:39か所)、公用車・公用自転車への掲示による啓発(5月24日～6月21日)</li> <li>・市内主要駅6か所、本庁に受動喫煙防止啓発のための啓発のぼりを設置(5月24日～6月21日)</li> <li>・市内禁煙外来マップを配布し、禁煙治療実施医療機関の情報を提供</li> <li>・地区まつり(大庄)において、喫煙者を対象に肺年齢測定と禁煙啓発を実施(26人 内喫煙者6人、喫煙経験者5人)</li> <li>・たばこの健康影響に関する出前講座(園田東小学校:13人)</li> </ul> <p>【保健企画課】</p> <p>○「ダメ。ゼッタイ。」普及運動(令和元年7月4日)対象1,000人 JR立花駅周辺にのぼり・横断幕を掲出。啓発物品を配布した。</p> <p>○中学校への薬物乱用防止啓発パネル展示(市立中学校7校) 3年間で全市立中学校を一巡する。</p> <p>【疾病対策課】</p> <p>&lt;アルコール依存症等に対する啓発&gt;</p> <p>・令和元年12月12日・18日「依存症という病気について」 県立高校生等計1,235名参加 講師:『リカバリハウスいちご尼崎』管理者・武輪真吾氏等 内容:高校生に対し、依存症全般の知識を伝達し、疾病に罹患するリスクの軽減を図った。</p> <p>【感染症対策担当】</p> <p>&lt;エイズ予防啓発活動&gt;</p> <p>(1)啓発用のぼりの設置 実施期間:令和元年6月3日～令和元年7月2日及び令和元年11月18日～12月17日 実施場所:JR立花駅周辺、JR尼崎駅周辺、JR塚口駅周辺、阪急塚口駅周辺、阪急武庫之荘駅周辺、阪神尼崎駅周辺、阪神出屋敷駅周辺</p> <p>(2)キャンペーン ア. 大学におけるキャンペーン 実施日:令和元年6月1日～令和元年6月30日 実施場所:関西国際大学、園田学園女子大学、産業技術短期大学、育成調理専門学校、関西保育福祉専門学校、興隆学林専門学校、ヘルツ阪神理容美容専門学校 実施内容:ポスター等掲示、HIV及びび性感染症啓発リーフレット等の配布、のぼり設置、関連動画の映写等</p> <p>イ. 成人の日のつどいにおけるキャンペーン 実施日:令和2年1月13日 配布内容:HIV及びび性感染症啓発コンドーム及びリーフレット等 300部</p> <p>(3)啓発講演会 実施日時:令和元年12月4日午後2時から午後5時まで 実施場所:すこやかプラザ多目的ホールB室 内容:青少年に伝えたいHIV/エイズ・性感染症について 講師:尼崎総合医療センター 感染症内科 松尾裕央医師 対象:市内小中高に勤務する教員、受講を希望する市職員等</p>	<p>【健康増進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・COPD健康相談における禁煙支援(86人 内喫煙者59人)</li> <li>・COPD健康相談で把握した禁煙希望者に対して、電話もしくは手紙で禁煙チャレンジ状況を確認し、状況に応じて禁煙支援を実施</li> <li>(1ヵ月以内の禁煙希望者29人の内、連絡がとれなかった5名を除く24名中、禁煙中の者は13人)</li> <li>・肺がん検診の結果通知書でたばこの健康影響に関する情報提供</li> <li>・母子健康手帳交付時の啓発ビラの配布(4,058人)、必要に応じて保健指導を実施</li> <li>・乳幼児健診での啓発ビラの配布</li> <li>・世界禁煙デーのポスター配布・掲示依頼(子育て関連施設:39か所)</li> <li>・市内小中学生の禁煙ポスターを加工した媒体の公用車・公用自転車への掲示による啓発(5月24日～6月21日)</li> <li>・市内主要駅6か所、本庁に受動喫煙防止啓発のための啓発のぼりを設置(5月24日～6月21日)</li> <li>・市内禁煙外来マップを配布し、禁煙治療実施医療機関の情報を提供</li> <li>・市内医療機関と連携し、禁煙外来マップの情報を更新</li> <li>・地区まつり(大庄)において、喫煙者を対象に肺年齢測定と禁煙啓発を実施(31人 内喫煙者7人、喫煙経験者6人)</li> <li>・たばこの健康影響に関する出前講座(関西保育福祉専門学校:247人)</li> <li>・たばこの健康影響に関する出前講座(1回 13人)</li> </ul> <p>【疾病対策課】</p> <p>&lt;アルコール依存症等に対する啓発&gt;</p> <p>・平成30年12月17日(月)「依存症という病気について」 県立高校生等335名参加 講師:『リカバリハウスいちご尼崎』管理者・武輪真吾氏等 内容:高校生に対し、依存症全般の知識を伝達し、疾病に罹患するリスクの軽減を図った。</p> <p>・平成31年3月2日(土)「飲酒と健康を考えるあまがさき市民セミナー」 市民等75名参加 講師:『県立ひょうごこころの医療センター』副院長 葛山 秀則先生 内容:市民に対し、アルコール依存症に関する知識伝達及び回復のための社会資源の情報提供</p> <p>【感染症対策担当】</p> <p>&lt;エイズ予防啓発活動&gt;</p> <p>(1)啓発用のぼりの設置 実施期間:平成30年6月1日～6月30日及び平成30年11月12日～12月11日 実施場所:JR立花駅周辺、JR尼崎駅周辺、JR塚口駅周辺、阪急塚口駅周辺、阪急武庫之荘駅周辺、阪神尼崎駅周辺、阪神出屋敷駅周辺</p> <p>(2)キャンペーン ア. 大学におけるキャンペーン 実施日:平成30年6月7日及び6月12日 実施場所:関西国際大学、園田学園女子大学 配布内容:HIV及びび性感染症啓発リーフレット等 300部</p> <p>イ. 成人の日のつどいにおけるキャンペーン 実施日:平成31年1月14日 配布内容:HIV及びび性感染症啓発コンドーム及びリーフレット等 200部</p> <p>(3)ポスター掲示 実施期間:平成30年6月1日～6月30日及び平成30年12月1日～12月31日 実施場所:市内大学、専門学校、中学校及び高等学校</p> <p>【保健企画課】</p> <p>○「ダメ。ゼッタイ。」普及運動(平成30年7月13日)対象1,000人 JR立花駅周辺にのぼり・横断幕を掲出。啓発物品を配布した。</p> <p>○中学校への薬物乱用防止啓発パネル展示(市立中学校5校) 3年間で全市立中学校を一巡する。</p>

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	健康福祉局	課	健康増進課、感染症対策担当	事業番号	5221										
事業概要 (PLAN)	基本目標 5 女性の生涯にわたる健康の確保 方針 2 性差をふまえた女性の健康保持増進 <b>重点方針</b> 施策の方向 2 妊娠・出産期における女性の健康支援														
事業番号/事業名	5221 各種教室(思春期・エイズ・禁煙・成人健康)・保健師の健康相談														
事業内容	思春期の健康、エイズ、喫煙等に対する正しい知識を普及、啓発し女性の健康づくりを図る。また、学校と連携して防煙教室を実施する。														
令和元年度に向けた方向性 (PLAN)	(課題)【感染症対策担当】 HIV及び性感染症に関する相談及び検査については、従来からの体制を維持することができている。しかしながら、HIV/エイズ、性感染症及びセクシュアルに関する問題は、多くの人が抱えているにも関わらず、他人には相談しにくい社会となっている。 (今後の方向性)【感染症対策担当】引き続き、正しい知識の普及啓発及び相談・検査機会を提供することにより、相談・検査を受けやすい環境づくりに取り組んでいく。														
参考	関連する計画	地域いきいき健康プランあまがさき(地域保健医療計画)													
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。														
令和元年度	【健康増進課】 ・母子健康手帳交付時の啓発ビラの配布(4,024人)、必要に応じて保健指導を実施 ・市民課協力のもと、出生届出時に喫煙者のうち希望者を対象に禁煙宣言マグネットシート配布(400部) ・1歳6か月児健診時、禁煙中及び喫煙している保護者を対象に禁煙支援パンフレット配布(3,202人) ・たばこの健康影響に関する出前講座(1回 13人) 【感染症対策担当】 1. HIV/エイズに関する相談及び検査の実施 (1) HIV抗体検査 458件 (男性333人、女性125人) (2) 相談 968件 ・性病の検査の実施 梅毒340件、クラミジア262件、淋病202件 2. HIV/エイズ及び性感染症に関する啓発活動 (1) 主要7駅前において啓発用のほりを設置 (2) 市内大学及び専門学校においてキャンペーン及びポスター等の掲示														
前年30年度	【健康増進課】 ・母子健康手帳交付時の啓発ビラの配布(3857人)、必要に応じて保健指導を実施 ・市民課協力のもと、出生届出時に喫煙者のうち希望者を対象に禁煙宣言マグネットシート配布(400部) ・1歳6か月児健診時、禁煙中及び喫煙している保護者を対象に禁煙支援パンフレット配布(1,285人) ・たばこの健康影響に関する啓発リーフレットの配布(市内全小学校及び養護学校6年生)(3,509人) →平成29年度から保健所を経由せず兵庫県から教育委員会に直接依頼されている ・たばこの健康影響に関する出前講座(関西保育福祉専門学校:247人) 【感染症対策担当】 1. HIV/エイズに関する相談及び検査の実施 (1) HIV抗体検査 509件 (男性351人、女性158人) (2) 相談 1400件 ・性病の検査の実施 梅毒407件、クラミジア270件、淋病209件 2. HIV/エイズ及び性感染症に関する啓発活動 (1) 主要7駅前において啓発用のほりを設置 (2) 市内大学及び専門学校においてキャンペーン及びポスター等の掲示														
評価1 (CHECK)	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓														
評価2 (CHECK)	(CHECK) 数値目標 目標項目 目標・実績 <table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> </tr> </table>					目標値	達成年度	年度	29年度	30年度	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
目標値	達成年度	年度	29年度	30年度											
<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考											
評価3 (CHECK)	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について														
課題 (CHECK)	※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。														
今後の方向性 (ACTION)	※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。 【感染症対策担当】引き続き、正しい知識の普及啓発及び相談・検査機会を提供することにより、相談・検査を受けやすい環境づくりに取り組んでいく。														

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

<b>事業概要 (PLAN)</b>	
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保
方針	2 性差をふまえた女性の健康保持増進 <span style="float:right">重点方針</span>
施策の方向	2 妊娠・出産期における女性の健康支援
事業番号/事業名	5222 妊娠・出産期における健康支援
事業内容	母子健康手帳交付時に全妊婦を対象に妊婦健康相談を実施、ハイリスク妊婦の早期発見、支援し、また妊婦健診の結果報告を活用し、妊娠中の健康管理と将来の疾病等の予防に努める。
令和2年度に向けた方向性 (PLAN)	(課題)平成28年度尼崎市健康づくりアンケート調査によると「産後の心身の状態」で「いつも疲れている」「イライラする」が約4割。「子育てに自信がない」が約4割と出産前後の妊産婦の不安が高い。子育てのイメージが出来ないまま育児を行っていたり、具体的に相談できる人が身近にいないことも一因と考えられる。 (今後の方向性)望まない妊娠や母子健康手帳交付の遅れ、妊婦健診未受診などの課題もあるが、妊娠期から妊産婦の不安に寄り添い継続した支援につなげていく体制を構築する。早い時期からの(妊娠11週以内の)妊娠届出数も増加しており、支援を必要とする妊婦への対応も継続して、医療機関と連携しながら行っていく。平成30年4月から南北保健福祉センター地域保健課に母子健康包括支援センターの機能付加したことにより、リスクの高い人のみならず、全妊婦を対象に妊娠期からの切れ目ない支援を行えるよう体制を構築していく。
参考	関連する計画 地域いきいき健康プランあまがさき(地域保健医療計画)
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。
令和元年度	【健康増進課】(健康増進課・南北保健福祉センター地域保健課で実施) ・妊婦健診助成事業 ・支援が必要な妊産婦へ家庭訪問・面接・電話相談を実施 ・母子健康手帳交付時に保健師による全数の面接相談を実施し、若年及び高齢妊婦、シングルマザー、不安感、喫煙、飲酒などのリスクを把握し、早期に個別の支援につなげている。また、医療機関と連携し、支援が必要な乳児や妊産婦について、医療機関から情報提供書を介して、保健師が早期に関係機関と連携しながら支援に入る兵庫県のシステム(養育支援ネット)がある。年2回の医療機関との連携会議を開催することで、問題の共有や課題の整理などを行うとともに、関係機関との信頼関係を深め、支援のネットワークを図っている。 妊婦歯科健診 妊婦歯科健診併設して「食事・歯のセミナー」を開催 マタニティセミナークッキング&ブラッシング(調理実習とオーラルケアの実技を取り入れた講座)
前年30年度	【健康増進課】(健康増進課・南北保健福祉センター地域保健課で実施) ・妊婦健診助成事業 ・支援が必要な妊産婦へ家庭訪問・面接・電話相談を実施 ・母子健康手帳交付時に保健師による全数の面接相談を実施し、若年及び高齢妊婦、シングルマザー、不安感、喫煙、飲酒などのリスクを把握し、早期に個別の支援につなげている。また、医療機関と連携し、支援が必要な乳児や妊産婦について、医療機関から情報提供書を介して、保健師が早期に関係機関と連携しながら支援に入る兵庫県のシステム(養育支援ネット)がある。年2回の医療機関との連携会議を開催することで、問題の共有や課題の整理などを行うとともに、関係機関との信頼関係を深め、支援のネットワークを図っている。 妊婦歯科健診 妊婦歯科健診併設して「食事・歯のセミナー」を開催 マタニティセミナークッキング&ブラッシング(調理実習とオーラルケアの実技を取り入れた講座)

局	健康福祉局	課	健康増進課	事業番号	5222
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
を入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	【健康増進課】(健康増進課・南北保健福祉センター地域保健課で実施)平成28年度尼崎市健康づくりアンケート調査によると「産後の心身の状態」で「いつも疲れている」「イライラする」が約4割。「子育てに自信がない」が約4割と出産前後の妊産婦の不安が高い。子育てのイメージが出来ないまま育児を行っていたり、具体的に相談できる人が身近にいないことも一因と考えられる。				
	【健康増進課】(健康増進課・南北保健福祉センター地域保健課で実施)望まない妊娠や母子手帳交付の遅れ、妊婦健診未受診などの課題もあるが、妊娠期から妊産婦の不安に寄り添い継続した支援につなげていく体制を構築する。早い時期からの(妊娠11週以内の)妊娠届出数も増加しており、支援を必要とする妊婦への対応も継続して、医療機関と連携しながら行っていく。リスクの高い人のみならず、全妊婦を対象に妊娠期からの切れ目のな支援を行えるよう体制を構築していく。				



【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	健康福祉局	課	健康増進課	事業番号	5231
事業概要 (PLAN)	基本目標 5 女性の生涯にわたる健康の確保 方針 2 性差をふまえた女性の健康保持増進 <span style="float:right">重点方針</span> 施策の方向 3 成人期・高齢期等における女性の健康づくり支援 事業番号/事業名 5231 更年期健康支援 事業内容 更年期の健康づくり支援のための更年期教室、骨粗鬆症予防教室の取組を検討する。				
令和元年度に向けた方向性 (PLAN)	(課題) 保健所内で実施している「骨元気アップ相談会」の経年参加者は、自身の骨密度への関心が高く、骨の健康づくりのための生活習慣(食生活・運動習慣等)の維持・改善に取り組んでいる人が多い。しかし、市全体の課題である「若い女性のやせ」や「朝食の欠食」、また、骨量測定を通して見えてくる「子育て・働き世代の運動習慣の取り入れにくさ」等の課題がある。 (今後の方向性) 引き続き、関係部署・機関と連携しながら市民が集う場所に出向き、世代ごとの目標(骨量形成・成長期、骨量維持期、骨量減少期)に向けた健康づくりの取組・啓発を行うことで、市民の生活習慣病の予防および「若い女性のやせ」、「朝食の欠食」等の課題解決につなげる。				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
令和元年度	【健康増進課】 ○保健所内での骨量測定 ・骨元気アップ相談会 (方法) 超音波骨密度測定装置を用いた踵の骨量測定、希望者にはBIA法による体脂肪率、筋肉量等の測定と生活習慣アンケート、これらの結果に基づく健康教育を行う。 (実施日) 毎週月曜(午後1時から午後2時まで受付)と水曜(午前9時から午前10時まで受付)に実施する。 (実績) 87回、251人 ○保健所外での骨量測定 ・子育て・働き世代(更年期)を対象とした骨量測定会(3回、36人) ・市政出前講座による骨量測定(22回、493人) ・市内高校の文化祭における骨量測定会(生徒以外に教職員や保護者が対象:1回、106人) ・「尼崎市民まつり」、「立花商店街子ども夏まつり」、「すこやかまつり」における骨量測定会(3回、271人) ・3月1日～8日「女性の健康週間」にあわせ、パンフレット配布やポスター掲示等啓発を行った。				
前年30年度	【健康増進課】(一部で実施) ○保健所内での骨量測定 ・骨元気アップ相談会 (方法) 超音波骨密度測定装置を用いた踵の骨量測定、BIA法による体脂肪率、筋肉量等の測定と生活習慣アンケート、これらの結果に基づく健康教育を行う。 (実施日) 毎週月曜日(午後1時～午後2時受付)と水曜日(午前9時～午前10時受付)に実施する。 (実績) 95回、518人 ・子育て・働き世代(更年期)を対象とした骨量測定会(4回、45人) ○保健所外での骨量測定 ・市政出前講座による骨量測定(19回、478人) ・市内高校の文化祭における骨量測定会(生徒以外に教職員や保護者が対象:1回、91人) ・「立花商店街子ども夏まつり」、「すこやかまつり」における骨量測定会(2回、170人) ・3月1日～8日「女性の健康週間」にあわせ、パンフレット配布やポスター掲示等啓発を行う他、骨量測定会を実施(1回、45人)				
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
評価2	(CHECK) 数値目標 目標項目 目標・実績				
実績の評価	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
		達成している		下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	引き続き、関係部署・機関と連携しながら市民が集う場所に出向き、世代ごとの目標(骨量形成・成長期、骨量維持期、骨量減少期)に向けた健康づくりの取組・啓発を行うことで、市民の生活習慣病の予防および「若い女性のやせ」、「朝食の欠食」等の課題解決につなげる。				

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

		局	健康福祉局	課	健康増進課	事業番号	5232	
<b>事業概要 (PLAN)</b>		<b>評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか</b>						
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保							
方針	2 性差をふまえた女性の健康保持増進 <span style="float:right">重点方針</span>							
施策の方向	3 成人期・高齢期等における女性の健康づくり支援							
事業番号/ 事業名	5232 子宮頸がん検診・乳がん検診の実施							
事業内容	子宮頸がんや乳がんを早期に発見し、早期治療につなげるために子宮頸がん検診を実施する。また、がん検診の重要性などの意識啓発に努め、市民の健康管理意識の向上と健康の保持増進を図る。							
令和元年度 に向けた 方向性 (PLAN)	(課題)ポスター掲示や出前講座等を通じ、受診勧奨に取り組んでいるものの、子育て中の20～40代の受診者数は少ない。 (今後の方向性)がんの早期発見と正しい健康意識の受給啓発に努め、健康の保持、増進を図る。 リーフレットの工夫やがん検診手帳の整備等、医療機関でのポスター掲示等の受診啓発を通じ、がん検診の受診促進を図る。							
参考	関連する計画							
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。							
令和元年度	【健康増進課】 1. がん検診 ①子宮頸がん検診 【対象者】20歳以上(4月1日現在)の市民(女性)の方 【方 法】問診、子宮頸部(膣部・頸管部)の細胞診検査 【実績】令和元年度 4,947人 ②乳がん検診 【対象者】40歳以上(4月1日現在)の市民(女性)の方 【方 法】問診、視触診、マンモグラフィ検査及び自己触診法の指導 【実績】令和元年度 5,261人 ※市のがん検診推進事業として、一定の年齢に達した者に対しがん検診の無料クーポン券を配付し受診を促進する。 子宮頸がん検診(20歳の女性)、乳がん(40歳の女性) ・子宮がん・乳がん検診のポスター掲示による啓発							
	【健康増進課】 1. がん検診 ①子宮頸がん検診 【対象者】20歳以上(4月1日現在)の市民(女性)の方 【方 法】問診、子宮頸部(膣部・頸管部)の細胞診検査 【実績】平成30年度 3,871人 ②乳がん検診 【対象者】40歳以上(4月1日現在)の市民(女性)の方 【方 法】問診、視触診、マンモグラフィ検査及び自己触診法の指導 【実績】平成30年度 4,591人 ※市のがん検診推進事業として、一定の年齢に達した者に対しがん検診の無料クーポン券を配付し受診を促進する。 子宮頸がん検診(20歳の女性)、乳がん(40歳の女性) ・子宮がん・乳がん検診のポスター掲示による啓発 【地域保健課】 ・出前講座によるがん検診受診啓発・乳房模型を用いた自己触診法の指導(5回・95人) ・乳がん月間(10月)に、6支所及び女性センターテレビエでのパンフレットの配布・パネルの掲示、乳幼児健診時の集団指導で講話を実施							
前年 30 年度	【健康増進課】 1. がん検診 ①子宮頸がん検診 【対象者】20歳以上(4月1日現在)の市民(女性)の方 【方 法】問診、子宮頸部(膣部・頸管部)の細胞診検査 【実績】平成30年度 3,871人 ②乳がん検診 【対象者】40歳以上(4月1日現在)の市民(女性)の方 【方 法】問診、視触診、マンモグラフィ検査及び自己触診法の指導 【実績】平成30年度 4,591人 ※市のがん検診推進事業として、一定の年齢に達した者に対しがん検診の無料クーポン券を配付し受診を促進する。 子宮頸がん検診(20歳の女性)、乳がん(40歳の女性) ・子宮がん・乳がん検診のポスター掲示による啓発 【地域保健課】 ・出前講座によるがん検診受診啓発・乳房模型を用いた自己触診法の指導(5回・95人) ・乳がん月間(10月)に、6支所及び女性センターテレビエでのパンフレットの配布・パネルの掲示、乳幼児健診時の集団指導で講話を実施							
	【健康増進課】 1. がん検診 ①子宮頸がん検診 【対象者】20歳以上(4月1日現在)の市民(女性)の方 【方 法】問診、子宮頸部(膣部・頸管部)の細胞診検査 【実績】令和元年度 4,947人 ②乳がん検診 【対象者】40歳以上(4月1日現在)の市民(女性)の方 【方 法】問診、視触診、マンモグラフィ検査及び自己触診法の指導 【実績】令和元年度 5,261人 ※市のがん検診推進事業として、一定の年齢に達した者に対しがん検診の無料クーポン券を配付し受診を促進する。 子宮頸がん検診(20歳の女性)、乳がん(40歳の女性) ・子宮がん・乳がん検診のポスター掲示による啓発							
評価2 (CHECK) 数値目標		目標項目						
		①子宮頸がん検診、②乳がん検診の受診率						
目標・実績		目標値	①②とも増加	達成年度	33	年度	30年度	令和元年度
							①7.1%(3,871人)	①8.0%(4,947人)
							②10.0%(4,591人)	②10.9%(5,261人)
実績の評価		<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>		下回った	備考	
評価3		(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容						
		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について						
課題		(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。						
		ポスター掲示や出前講座等を通じ、受診勧奨に取り組んでいるものの、子育て中の20～40代の受診者数は少ない。						
今後の方向性		(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。						
		がんの早期発見と正しい健康意識の受給啓発に努め、健康の保持、増進を図る。 リーフレットの工夫やがん検診手帳の整備等、医療機関でのポスター掲示等の受診啓発を通じ、がん検診の受診促進を図る。						

【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票(令和元年度実施内容分)

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課	事業番号	5233
事業概要 (PLAN)	基本目標 5 女性の生涯にわたる健康の確保 方針 2 性差をふまえた女性の健康保持増進 <b>重点方針</b> 施策の方向 3 成人期・高齢期等における女性の健康づくり支援 事業番号/事業名 5233 女性の健康についての啓発 事業内容 生涯を通じた女性のこころとからだの健康を支援するため、多様な年代を対象とする講座を行う。 令和元年度に向けた方向性 (PLAN) (課題)生涯を通じた女性の健康を支援するため、多様な年代を対象とする講座を行う必要がある。(今後の方向性)行政、民間団体、市民団体等と協力しながら事業(セミナー、展示、情報提供等)を実施して、幅広い世代を対象とした講座等を行うよう努める。				
参考	関連する計画	評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓			
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
令和元年度	評価2 (CHECK) 数値目標 目標項目 目標・実績 目標値 達成年度 年度 29年度 30年度 実績の評価 <input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った 備考				
前年30年度	評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について 課題 (CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
令和元年度	【女性センター】 ●女性のこころとからだの健康支援 ○2019あまがさき女性フォーラム「フラワーデモ性犯罪の無罪判決について考える」(講師:西部智子 受講者28人 女性25人 男性3人) ○「心地よくアサーティブに! ~自分も相手も大切にしたコミュニケーション~」(講師:NPO法人フェミニストカウンセラー神戸所属カウンセラー 受講者数:のべ120人) ●ブックフェア「ピンクリボンキャンペーン ~月1回のセルフチェックからはじめよう~」 ●ギャラリー展示「ピンクリボンキャンペーン ~月1回のセルフチェックからはじめよう~」				
前年30年度	【女性センター】 ●女性のこころとからだの健康支援 ○「ツボミスクール&防災・防犯デコホイッスル作り」(講師:谷本貴子(株)ワコール ツボミスクールインストラクター 受講者数:9組17人) ○「アサーティブに! 私の気持ちを伝えよう」(講師:フェミニストカウンセリング神戸所属講師 受講者数:120人) ●「ピンクリボンキャンペーン ~月一回のセルフチェックからはじめよう~」 ●ブックフェア「ピンクリボン」「アサーティブに! 私の気持ちを伝えよう」				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。 【女性センター】 庁内関係部署、民間団体、市民団体等と協力しながら、様々な形態で事業を実施し、幅広い世代を対象に啓発できるように努める。				